

JA種子屋久 第17回通常総代会



第 17 回通常総代会

中種子町の種子島こり～なで6月28日、第17回通常総代会が開催されました。今回は新型コロナウイルス感染症の分類変更に伴い、4年ぶりに人数制限のない開催となりました。

岩次則組合長は「国内外の問題により、生産者が使用する肥料、飼料、燃料、生産資材の価格が高騰したことにより、生産者はもとよりJAとしても厳しい1年となりました。これらの高騰対策として、国、県への要請や経済連と連携した値引きによる支援等も行いました。今後の対策としてもJA独自の支援対策を行いたいと思います。」と述べました。

議事では、南種子地区の池亀昭次総代を議長に選出し、令和4年度事業報告や令和5年度事業計画など7つの提出議案について説明・審議され、全ての議案が原案通り可決承認されました。

総代会表彰では、11名が受賞されました。

総代会各部門表彰者

【米の部】	南種子町	中之蘭	堅二郎	様
【さとうきびの部】	中種子町	株式会社 中種子精脱	様	
【でん粉原料用甘しょの部】	西之表市	橋元 仁	様	
【野菜の部（スナックえんどう）】	中種子町	原田 脩三郎	様	
【野菜の部（バレイショ）】	屋久島町	安藤 清浩	様	
【茶の部】	南種子町	大川 澄也	様	
【花卉の部】	西之表市	牧瀬 昭子	様	
【果樹の部】	屋久島町	鎌田 秀久	様	
【和牛の部】	屋久島町	西橋 優樹	様	
【肥料の部】	南種子町	柳田 陽介	様	
【飼料の部】	中種子町	株式会社 中崎	様	

7月の運勢
モナ・カサンドラ



牡羊座
3/21
～ 4/19

【全体運】 人気運に恵まれ勢いがあります。周囲の協力を得やすいので丁寧な説明を心がけて。じっくり交渉すれば大成功
【健康運】 食物繊維たっぷりの食事で腸内環境を整えて
【幸運を呼ぶ食べ物】 梨

JA たねやく
2023・7

【令和5年度基本方針】

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和等による新たな段階へ移行しつつあり景気の持ち直しが期待されるものの、感染状況は拡大・収束を繰り返し、加えて円安や資源価格高騰の影響もあり、先行きは依然として不透明な状況にあります。

農業面においては、国際情勢等の影響による生産資材や燃油等の高騰が農家経営に大きな影響を及ぼしており、依然として厳しい状況が続いております。

また、国際貿易交渉をめぐる情勢については、TPP11や日EU・日英EPA等につき、RCEPが発効するなど、自由貿易化の流れが一段と加速しております。

このような社会環境の中、産地の維持・発展を図るため「産地づくり10年ビジョン」の着実な実践と、産地づくりに必要な営農指導体制の整備、スマート農業への取り組みや労働力確保対策のほか、管内での推奨品目の選定を進め、ブランド力の向上ならびに生産・加工・販売環境への対応など、将来を見据えた農業振興に取り組む必要があります。

JA経営については、信用・共済事業を中心に事業環境が厳しくなる中、経営資源の再配置による、組織の持続性確保を図る転換期であります。

自己改革実践サイクルへの対応では、農業者の所得増大にかかる業績評価指標（KPI）の設定・管理、准組合員の意思反映・運営参画の具体化と併せ、将来を見通した中長期の収支シミュレーションの策定など「持続可能な収益性・将来にわたる健全性」への取り組みの強化が求められております。

このようなことから、令和5年度は、組合員との徹底した対話を通じた総合事業を基本とした「不断の自己改革」と、財務・経営基準、県域事業方針の着実な実践による将来にわたる総合事業体としての経営基盤の確立・強化により、地域農業を支える「農協経営の持続性確保」に引き続き取り組みます。

あわせて、農業や暮らしを守る事業・活動を通じ、SDGsの達成に貢献する取り組みを連動し、第6次中期3ヵ年計画の中間年度として、3つの重点事項を主眼に取り組みを進めます。

- ①農業者の収入拡大・コスト抑制対策（業績評価指標「KPI」の設定）
- ②収支シミュレーションの策定・実践
- ③組合員の結集力強化戦略の実践（准組合員の意思反映）

